

令和8年3月26日

北海道教育委員会教育長 様

北海道浜頓別学校長 福本典子

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

<p>(1) 信頼関係を築きながら、多様な価値観を受け入れる寛容さを身につけさせるとともに、自己管理能力を高める。</p> <p>(2) 生徒個々の状況に併せた適切な目標を設定し、主体的に目標に向かって粘り強く学習や進路活動に取り組ませる。</p> <p>(3) 探究学習を深化させ、広い視野で建設的に課題を捉え、自らのキャリア形成に役立てる。</p>
--

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

【教育活動に関する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<p>○漢字検定に向けた取り組みが向上した。ICT教材を活用できている生徒もいる。</p> <p>○習熟度別授業やゼロワン講習等、個別最適な指導の実践を継続する。</p> <p>○新学習指導要領を見据えた評価の捉え方と単元テスト等による到達状況の適切な見取りについての研修が必要。</p>	<p>○目標達成のロードマップを作成し、生徒が取り組むことと教師の関わりを明確にして評価・改善を繰り返す。生徒による教員評価も必要。</p> <p>○自己評価と他者評価の乖離をうめる改善方策の検討。</p>
改善方法	<p>○ICTコンテンツを積極的に活用し、家庭学習に取り組む姿勢を醸成する。</p> <p>○生徒の学習状況の適切な見取りのために単元テストやICTコンテンツなど複数尺度による評価を積極的に実践する。</p>	
生徒指導	<p>○交通安全講話、薬物乱用防止教室の他にいじめ防止講話を実施できた。</p> <p>○いじめアンケートによるいじめ認知件数は0である。</p> <p>○他校との合同編成や部のない競技の全道大会参加など生徒の活動を支援する顧問体制がとれた。</p>	<p>○部局活動に期待するところは大きい。特に吹奏楽に興味を持つ生徒が本村に多い。</p> <p>○いじめ認知件数「0」のみをもって安心することなく、また対話の機会を設けたり、道徳教育の計画化を進めていただきたい。</p>
改善方法	<p>○いじめの定義・対応について、丁寧な説明と文章配付による確認をし、早期に生徒・保護者と共通認識を持つとともに体系化した道徳教育を行う。</p> <p>○中学校で地域移行したクラブ活動と本校の部局活動との連携を進める。</p>	
進路指導	<p>○教科担任会議等の情報共有により個に応じた進路指導、科目選択等が実施できた。</p> <p>○地域巡検やインターシップ、高校内企業説明会を通して、地元や企業理解に繋がった。</p>	<p>○大学パンフのように、進学した先輩の充実した姿を広報していただきたい。</p> <p>○外部からの講師等を招聘した取組は今後も充実させていきたい。</p>
改善方法	<p>○外部講師を活用したキャリア教育の充実と、積極的な情報収集や情報共有による個々の希望に対応したサポート体制の構築。</p> <p>○個人の力に寄らない地学協働の枠組みの形成と教職員の校外での活動促進。</p>	
健康安全指導	<p>○避難訓練や1日防災学校等の体験活動をおして、安全に関する判断・行動力を高めた。</p> <p>○外部講師による保健指導や保健だよりの発行、「ほっと」やP S Iを教育相談に役立てた。</p>	<p>○中学校で不登校であった生徒でも自立し、不登校が改善したというような事例を積み上げてほしい。入学者数と卒業者数が同じ高校であってほしい。</p>
改善方法	<p>○教職員による危機管理マニュアルの精査と週休日等の不測事態における連絡体制の確認。</p> <p>○生徒のストレス状況を適切に把握し、外部の専門機関につなげる。</p>	

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
保護者連携	○広報やホームページでの発信の他にポスターを作成し、生徒の様子を発信したが、それだけでは中学生やその保護者等になかなか伝わらない。 ○PTA役員会・総会の出席率が低いこと、PTAの主体的活動への転換が必要。	○猿払村や中頓別町に浜頓別高校の教員や生徒が広報する場面を作っていきたい。 ○行事や生徒の様子をまとめたポスターはWEBとは違って誰でも見ることができる点で効果的だと思うので工夫して継続するとよいと思う。
改善方法	○広報やWEBでの発信は継続し、学校開放的な行事や生徒が地域に関わる取組を積極的に行う。 ○保護者や近隣町村の教育関係者が気軽に学校に関われる環境作りを模索する。	

【学校運営に関する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
互いに認め合い、自分で判断し、行動できる生徒を育成している。	○スクールカウンセラー事業や日常的な教育相談の他にいじめ防止講話を実施できた。 ○生徒の自己評価が保護者・教職員より0.4ポイント高いが、対人関係で悩む生徒も見られる。	○外部講師による取り組みや学校内の取り組みを通して望ましい人間関係作りが進められている。 ○取組の効果を検証・改善していく仕組みがより明確になると評価も高まる。
改善方法	○学校生活の様々な場面をとおして、柔軟な人間関係、認め合える関係づくりを促す。	
主体的に責任感をもって物事に取り組む生徒を育成している。	○強歩遠足から体育大会に変更したことで、種目の設定など生徒の主体性が見られた。 ○生徒数が減少したことにもない行事における準備等にかかる負担が増えている。	○生徒の自律的な活動のほかに、地域を巻き込んで、協力いただくことでプログラム削減を緩和してほしい。
改善方法	○日程の変更やプログラムの内容の精査を行うなど、生徒が集中して主体的に取り組める内容を検討する。	
地域を理解し、貢献していこうとする生徒を育成している。	○地域巡検やインターンシップをとおして、将来地元で暮らすイメージを持つ生徒が増えた。 ○地域資源を活用したキャリア教育と地学協働の取り組みの継続。	○出身中学校に来て、在籍生徒が満足して学生生活を過ごしていることを紹介していただきたい。
改善方法	○中学校の先生や中学生の保護者、地域の方に本校の取り組みや学習・進路指導を早期にアピールする。	
公表方法	学校ホームページ、保護者配付文章にて公表する。	

3 添付資料

令和7年度「学校評価」学校関係者評価